



笑顔で伸びやかに夢に向かって

大好きです！ 砥用小

～学びの姿と元気を地域へ発信！～ R6, 9, 18(水)

生き生き わくわく

美里町立砥用小学校学校だより

令和6年度ワークキャンプに参加して

砥用小からは、10名の6年生が夏休み期間中に実施された町のワークキャンプに参加しました。感想文集を作ってくださいましたので、本校児童が書いた感想の一部を紹介します。感想文を読むと、二日間の体験学習で、さまざまなことを感じ、思い、考え、学習できたことが分かります。実際に「やってみる、体験する」って大事ですね。

○車椅子の乗せ方と進め方に注意が必要；足が引っかかって転落することがある。また、何も言わずに車椅子を押すと、乗っている人がびっくりしてけがをするかもしれない。○利用者との話し方；聞こえにくい人がいるので、ゆっくり話してコミュニケーションを取る。○介護の難しさ楽しさ；利用者の気持ちを考えることが大事、職員の方に教えていただいたとおりにしたら、利用者の方から「ありがとう」と言ってもらえた。○介護や福祉とは何かということが分かった。お年寄りの方々と、たくさん話ができたり活動をしたりすることができた。○一日目は、何を話したらいいのかが分からなくて、なかなか話せなかったけれど、二日目は、一日目の経験を生かして、自分から積極的に話しかけに行ったり、体調に気を配ったりと、自分なりにできることをやった。「○○ちゃんは、お利口だねえ」と言われて、良い気持ちになった。○お年寄りの方との話し方や関わり方を頑張った。介護する人が、どんな気持ちで社会福祉の世界に入ったのかが分かった。お年寄りの方々の喜ぶ顔を見られたことが心に残った。○介護福祉に関わり生活をしている人の気持ちを知ることができた。～心配だなあ、大丈夫かなあ、元気になってほしいなあと思う気持ちや願う気持ち～を体感することができた。知らない利用者さんにも接して話すことができた。園で学んだコミュニケーション力と福祉や介護についての理解を、これからの生活に活かしていきたい。○園で働く人たちの仕事の大変さとやさしさが、よく分かった。知らない人と話すのが苦手だったけれど、園の人たちが優しく接してくれた。そして、いろいろなことを教えてくれたり、一緒に活動をしてくれたりした。介護と福祉は、利用者の方々のために頑張ること、利用者の方々が笑顔になり、その笑顔で、福祉や介護の仕事をする人が笑顔になるということ学んだ。○社会福祉や介護のことについて知らなかったことを知り、また、施設内見学や利用者の方々といろいろな活動をして、とても楽しかった。○介護が必要な人ということ、高齢の方々を思い浮かべていたが、足や手が不自由な人だけではなく、誰もが公平に受けられる、ボランティア精神があふれる仕事だと分かった。介護の意味や利用者の方々の気持ちを考えると仕事の大切さが分かった。「ありがとう」と言われると、自分にもできているんだと感じた。失敗することはあったけれど、職員さんが助けてくださり、とてもうれしかった。この経験を活かして、他の人に頼りになるよう、リーダーシップを発揮できるようにしたい。また、何かあって必要になったら、ばあちゃんに、できるだけ手助けしていきたい。○介護と聞いて、意味は知っていたけれど、介護の仕方は知らなかった。介護が必要な人達は、自分たちが普通だと思っている生活をする事ができないことが分かった。職員の方が、分かりやすく説明してくれて、簡単なお手伝いや一緒にいることも介護だということを知った。

9月16日(月)敬老の日。自分とつれあいの実家に行きました。両方とも84歳、83歳になります。自分の実家は老々介護です。今年、説得して自動車運転免許証を返納しました(公共交通機関はないのと同じ。移動には自家用車は必需です)。移動手段がないので、病院に連れていくためや生活の様子をうかがうために実家に行っています。日常の買い物は、買い物リストを作ってもらい、通院する際にまとめてします。

「もう帰っとねえ。寂しかたい」と言う母親の言葉が心に刺さります。